

愛知県公文書館年報

第 25 号

平成 23 年度



目 次

I 公文書館の概要－平成23年4月1日現在－

1	目 的	1
2	沿 革	1
3	組 織	2
4	業 務	2
5	予算額の推移	3
6	施設の概要	3
7	特色ある所蔵資料	4

II 公文書館の業務－平成22年度の状況－

1	所蔵状況	6
2	収集状況	
(1)	公文書の移管	6
(2)	30年保存文書の保管と移管	6
(3)	刊行物等の収集	7
(4)	古文書・私文書の収集	7
3	整 理	
(1)	公文書	7
(2)	刊行物等	7
(3)	古文書・私文書	7
4	保 存	
(1)	複製物の作成	8
(2)	公文書等の修復	8
5	所蔵資料検索システム	8
6	利用状況	8
(1)	一般利用	9
(2)	行政利用	10
7	展 示	11
8	公開講座	11
9	調査・研究	11
10	機関紙の発行	11
○	利用案内・地図 ○	12

I 公文書館の概要－平成23年4月1日現在－

1 目的

公文書は、国や地方公共団体が業務遂行上、作成又は取得した文書を指すが、これらの中には、社会の動きや住民の生活に関する経緯や結果が記録され、地域の歴史や県政の歩みを後世に伝える貴重な歴史的資料がある。

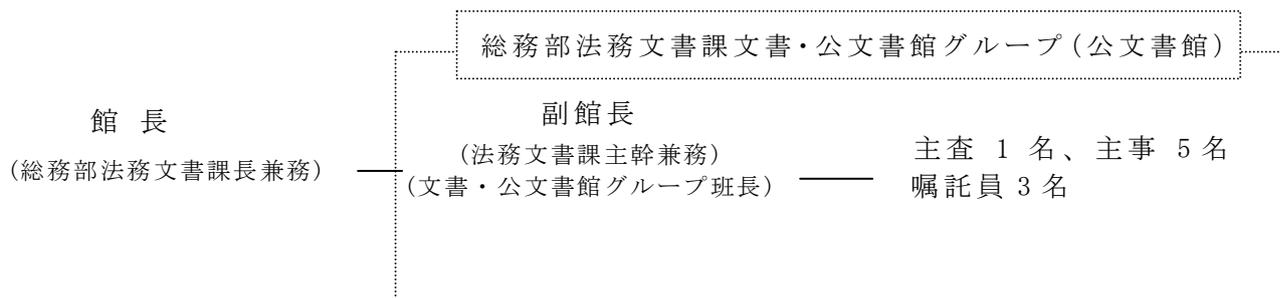
公文書館は、そうした歴史的価値のある県の公文書その他資料を継続的に収集し、整理し、及び保存するとともに、県民の共有財産としてその活用を図り、学術及び文化の発展に役立てることを目的としている。

2 沿革

昭54.	1. 22	県及び県議会に対し「公文書保存について」要望（愛知県の歴史資料保存をすすめる会代表 塩澤君夫氏）
	9. 26	県議会に対し「公文書保存体制確立について」請願（愛知県の歴史資料保存をすすめる会会員 結城陸郎氏ほか16名）
	10. 22	9月定例県議会において、上記請願を全会一致で採択
55.	3. 10	公文書館設立に係る諸課題を調査研究するため、総務部文書課に「公文書館問題研究班」を設置
	10. 17	「公文書館問題調査報告書」を作成
56.	4. 13	歴史的資料としての公文書の保存制度（公文書館制度）の試行的発足に伴う保管文書等の取扱いについて（依命通達）
	4. 17	県民有識者参加のもとに「県立公文書館構想懇談会」を設置
	12. 21	同懇談会の座長が知事に「県立公文書館（仮称）の基本的な構想について」の意見書を提出
57.	5. 31	県民有識者参加のもとに「県立公文書館運営問題検討会議」を設置
58.	10. 27	県立公文書館運営問題検討会議の座長が知事に「県立公文書館（仮称）の運営に関する意見」を提出
61.	2. 19	愛知県自治センター竣工
	3. 24	「愛知県公文書館条例」を議決（3月26日公布、7月1日施行）
	6. 25	愛知県公文書館規則公布（7月1日施行）
	6. 30	公文書館開館式典の挙行
	7. 1	公文書館開館（初代館長 藤原恂二）
62.	12. 15	公文書館法公布（63年6月1日施行）
63.	4. 1	行政委員会等文書収集開始
平 2.	4. 1	資料課分掌事務に「県史編さんに関すること」を追加（愛知県行政組織規則の一部改正）
平 2.	10. 31	愛知県史資料編さんに関する検討会設置

3.	9.	20	愛知県史資料編さんに関する検討会の座長が総務部長に「愛知県史資料編さんに関する報告書」を提出
4.	6.	15	愛知県史資料懇談会設置
	11.	12	第18回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会開催 (11月12日・13日) (全史料協・愛知県主催)
5.	3.	10	愛知県史資料懇談会会長が知事に「愛知県史資料の調査収集及び県史の編さんについて検討結果報告書」を提出
	7.	16	県史編さん準備会議(全体会議)開催
6.	4.	1	愛知県史編さん事業が開始 県史編さん事務が総務部文書課の事務となる
	9.	12.	1 『愛知県公文書館だより』創刊
11.	1.		愛知県公文書館のホームページ開設
	4.	1	総務部文書課の直接管理となる 館長が文書課長兼務、副館長が文書課主幹兼務となる
12.	4.	1	部制再編に伴い総務部総務課所管となる 館長が調整監兼総務課長兼務、副館長が総務課主幹兼務となる
14.	4.	1	館長が総務部総務課長兼務となる
16.	3.	22	所蔵資料検索システムが稼働
	4.	1	愛知県総合文書管理システムが稼働
18.	4.	1	本庁組織の見直しに伴い総務部法務文書課所管となる 館長が法務文書課長兼務、副館長が法務文書課主幹兼務となる

3 組織



4 業務

公文書館における業務は、次のとおりである。

- (1) 公文書等を収集し、整理し、及び保存すること
- (2) 公文書等を利用させること
- (3) 公文書等を展示すること
- (4) 公文書等に関する調査研究を行うこと

5 予算額の推移

年度別当初予算額

(単位：千円)

区 分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
管理運営費	2,019	2,017	2,017
文書整理費	1,216	436	436
計	3,235	2,453	2,453

6 施設の概要

- 施設の規模

2,166.12㎡			
書庫	1,229.09㎡	閲覧室	254.46㎡
閲覧和室	31.02㎡	展示室	112.80㎡
整理室、事務室等	538.75㎡		
- ハロンガス消火設備

書庫、整理室Ⅱ・Ⅲ、保管室、マイクロ保管庫

- 床荷重補強

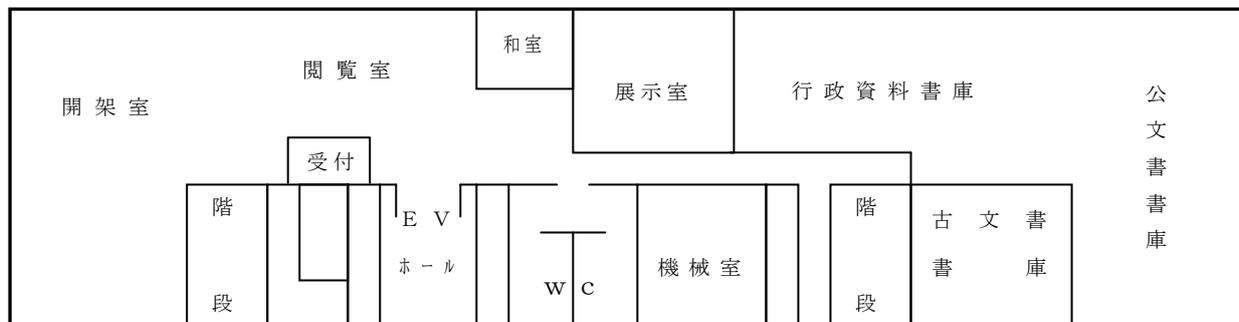
書庫部分	最高	1,200kg/㎡
------	----	-----------
- 資料の収蔵能力

約29万冊（書架延長13.5km）

- 公文書館の平面図

愛知県自治センター

7 階



8 階



7 特色ある所蔵資料

資 料 区 分	内 容	公 開 冊 数
名古屋藩庁文書 (幕末～明治4年)	明治初期における名古屋藩が作成、管理していた文書。旧尾張藩時代から引き継いだものや廃藩置県以後の記録も含まれる。名古屋藩における職制・藩制等の改革に関する一連の文書や、新政府への報告書等がある。	195冊
愛知県庁文書 (明治5年～昭和初期)	1872(明治5)年の愛知県の成立から昭和15年までの文書(愛知県成立以前の尾張・三河の旧県庁からの引継文書も含む)。草莽諸隊の士族復籍運動に関する文書や、明治期の学務課文書などがある。	220冊
地籍図・地籍帳	1883(明治16)年の内務省達乙第16号によるもので、1884(明治17)年3月17日付け愛知県布達乙第44号に基づき各郡区戸長から提出されたもの。一部欠けている部分もあるが、県内のほとんどの地域のもを所蔵。なお、地籍図・地籍帳とも、原本保護のため複製(複製図又はデジタルデータ)により利用に供している。	地籍図2,199枚 地籍帳2,424冊
郡役所文書	1878(明治11)年から1926(大正15)年まで設置された郡役所の文書。郡役所が廃止された後、県庁に引き継がれた文書と、県事務所に引き継がれた文書がある。郡役所で管理されていた公文書以外の資料(尾張名所図会、信長記など)も含む。	349冊
徳川林政史研究所所蔵 「愛知県庁文書」等	主に幕末から明治前期にかけての愛知県成立期における本県の状況がわかる文書。旧藩書類、旧県々書類、学校願伺留、尾参士族名簿、旧名古屋税務監督局所蔵文書など各分野にわたる。	複製本2,056冊
国文学研究資料館所蔵 「愛知県庁文書」	1873(明治6)年から昭和初期までの本県に関する文書。共進品評博覧会一件、会社関係書類綴、貸下金決議留、北海道移住民一件など兵事、学事、商工、土木を中心とする。	複製本2,404冊

資 料 区 分	内 容	公開冊数
国立公文書館所蔵 「愛知県史料」	内閣文庫が所蔵する「府県資料」のうちの本県分。	複製本23冊
古文書・私文書	愛知県教育会等文書、宮脇家文書、大塚家文書、大脇家文書など。	4,053点

*** 他機関所蔵「愛知県庁文書」等について**

1938(昭和13)年、現在の県庁舎が竣工し、南武平町から移転する際、多数の古い公文書が廃棄決定され、明治期公文書の多くが尾張徳川黎明会に下附された。その一部が現在、(財)徳川黎明会徳川林政史研究所、国文学研究資料館に所蔵されている。また、水産総合研究センター中央水産研究所には、水産関係の愛知県庁文書が所蔵されている。

本県では、公文書館設置に際し、これらの機関に所蔵されている県庁文書（徳川林政史研究所所蔵「旧名古屋税務監督局所蔵史料」を含む。）を全てマイクロフィルムで撮影し、複製本を作成して利用できるようにした。



愛知県自治センター

Ⅱ 公文書館の業務－平成22年度の状況－

1 所蔵状況

平成22年度末現在の所蔵資料は次のとおりである。

(単位：冊・巻・点)

資 料 区 分	数 量		
	21年度末	22年度末	
公 文 書	原 本	68,705	70,301
	複 製 本	6,870	6,870
	マイクロフィルム	9,491	9,616
	合 計	85,066	86,787
刊 行 物 等	原 本	76,712	77,702
	複 製 本	20	20
	マイクロフィルム	3,248	3,260
	合 計	79,980	80,982
古文書・私文書	原 本	3,430	4,053
	複 製 本	28	28
	マイクロフィルム	80	80
	合 計	3,538	4,161
旧 公 印	322	325	
合 計	168,906	172,255	

(備考) 上記以外に、資料のデジタルデータ化を行った。

年 度	資料名とその数量 (冊・点・枚)	収 録 先
14年度	地籍帳 2,424	C D - R O M
15年度	藩庁文書・県庁文書等 923	C D - R O M
16年度	地籍図 2,208	D V D

2 収集状況

(1) 公文書の移管

公文書については、廃棄予定文書の中から、歴史的価値があると判断されるものを選別・収集している(行政委員会等については、昭和63年度から収集開始)。

平成22年度は、知事部局のほか、企業庁、教育委員会、選挙管理委員会、人事委員会、労働委員会、海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会の文書を選別し、移管を受けた。

(2) 30年保存文書の保管と移管

30年保存文書(かつての永年保存文書を含む。)については、保存期間が20年を経過し、主務課等から保管の依頼のあったものを保管する。その後保存期間が30年を経過し廃棄予定とされたものの中から、歴史的価値があると判断されるものを選別・収集し、保存している。

(3) 刊行物等の収集

県の機関の刊行物は、①「行政資料の収集及び閲覧に関する規程（平成13年愛知県訓令第4号）」により、県民生活部県民生活課を経由して収集する方法と、②「愛知県公文書館公文書等管理規程（昭和61年愛知県訓令第10号）」により、直接収集する方法がある。

県の機関以外の刊行物等は寄贈を受けている。

(4) 古文書・私文書の収集

歴史的価値のある古文書等は、寄贈又は寄託により受け入れている。

平成22年度公文書等収集状況

区 分		数 量
公 文 書	知 事 部 局 本 庁	1,328
	知 事 部 局 地 方 機 関	60
	企 業 庁	12
	議 会	0
	教 育 委 員 会	178
	選 挙 管 理 委 員 会	2
	人 事 委 員 会	1
	労 働 委 員 会	11
	収 用 委 員 会	0
	海 区 漁 業 調 整 委 員 会 内水面漁場管理委員会	4
刊 行 物	県 公 報 ・ 官 報	65
	県 の 機 関	774
	そ の 他	163
古 文 書 ・ 私 文 書		623
合 計		3,221

3 整 理

(1) 公文書

移管を受けた公文書は、件名目次の作成、データ入力など所要の整理を行い、原則として事案の完結後30年を経過した公文書について、整理が済み次第、順次利用に供している。

平成22年度末現在で、所定の整理を終え利用に供しているものは24,552冊・点（名古屋藩関係記録、郡役所関係文書等を含む。）である。

(2) 刊行物等

平成22年度に収集した刊行物等は1,002点で、これらについては、必要な整理作業（データ入力、受付印の押印、配架等）を行った。

(3) 古文書・私文書

受け入れた古文書等は、目録データを作成する等必要な整理作業を行っている。

4 保 存

(1) 複製物の作成

収集した原本を保護・保存するため、必要に応じてマイクロフィルムなど複製物を作成し、利用に供している。これまで、明治期の県庁文書などについては複製本等を作成し、地籍図については特殊プリント方式による複製化を行ってきた。平成22年度は、事案の完結後30年経過した公文書325冊のマイクロフィルム化を行った。

(2) 公文書等の修復

簡単な修復等については館内で実施し、虫損の甚だしいもの等については外部に委託している。

5 所蔵資料検索システム

県民共有の財産である本館所蔵資料を一層多くの人に利用してもらうため、インターネットによる検索システムを導入し、平成16年3月から提供している。

(特 色)

- ・ 資料名等の一部の入力で検索が可能
- ・ 資料区分別検索のほか、全資料にまたがる検索も可能
- ・ 作成年代については、期間での検索が可能
- ・ 一部資料（主に公文書）については、件名目次のデータベース化を進めており、整備済みのものは、件名による検索や件名目次一覧の表示が可能
- ・ 本館閲覧室でも、自宅や会社でも資料検索から閲覧票の出力までが可能

6 利用状況

開館時から平成22年度末までの、各年度別の利用状況は次のとおりである。

年 度		18年度まで	19年度	20年度	21年度	22年度	累計
開館日数(日)		5,128	234	234	234	235	6,065
入館者数(人)	一般利用	68,573	4,091	4,101	3,917	4,197	84,879
	行政利用	12,615	732	623	674	728	15,372
	計	81,188	4,823	4,724	4,591	4,925	100,251
	1日平均入館者数	15.8	20.6	20.2	19.6	21.0	16.5
利用冊数(冊)	一般利用	91,916	6,876	6,472	7,581	4,623	117,468
	行政利用	59,328	4,388	3,579	2,970	3,748	74,013
	計	151,244	11,264	10,051	10,551	8,371	191,481
	1日平均利用冊数	29.5	48.1	43.0	45.1	35.6	31.6
複写利用枚数(枚)		285,814	19,295	20,327	14,043	25,112	364,591

(1) 一般利用

平成22年度末現在、一般利用の対象になっている資料は、事案の完結後30年を経過した県の公文書、他機関所蔵の愛知県庁文書のマイクロフィルムと複製本、県公報、官報、刊行物等124,566冊・巻・点である。

月別一般利用状況

月	開館日数	入館者数(人)	利用冊数(冊・点)	複写利用者数(人)
4月	19	274	336	78
5月	18	215	411	79
6月	22	267	362	71
7月	21	325	321	82
8月	22	285	335	55
9月	20	318	360	73
10月	20	545	297	73
11月	20	597	653	99
12月	18	296	293	82
1月	18	315	404	87
2月	19	402	358	77
3月	18	358	493	71
計	235	4,197	4,623	927

年度別一般利用状況 (単位:冊・巻・点)

項目		年度	18年度まで	19年度	20年度	21年度	22年度	計
公文書	公文書		7,747	1,090	419	665	488	10,409
	地籍図・地籍帳		25,130	1,980	1,528	1,416	1,562	31,616
	他機関所蔵資料		29,491	475	729	449	546	31,690
	計		62,368	3,545	2,676	2,530	2,596	73,715
刊行物等	公報・官報		9,334	885	793	526	441	11,979
	行政刊行物		12,121	1,848	2,146	3,515	1,125	20,755
	県史・市町村史誌		2,192	258	337	338	136	3,261
	参考図書等		5,901	340	520	672	325	7,758
	計		29,548	3,331	3,796	5,051	2,027	43,753
合計			91,916	6,876	6,472	7,581	4,623	117,468

(2) 行政利用

平成22年度の部局別行政利用状況及び開館時から平成22年度までの行政利用状況は次のとおりである。

部 局		人 数(人)		点 数(冊・点)	
知 事 部 局	知 事 政 策 局	16	(13)	87	(80)
	総 務 部	164	(42)	552	(97)
	地 域 振 興 部	16	(8)	64	(22)
	県 民 生 活 部	18	(7)	65	(17)
	防 災 局	0	(0)	0	(0)
	環 境 部	14	(9)	136	(18)
	健 康 福 祉 部	216	(21)	1,268	(35)
	産 業 労 働 部	9	(2)	47	(19)
	農 林 水 産 部	98	(50)	340	(102)
	建 設 部	96	(54)	511	(92)
	出 納 事 務 局	0	(0)	0	(0)
	地 方 機 関	45	(12)	563	(17)
	計	692	(218)	3,633	(499)
行 政 委 員 会 等	議 会	1	(0)	1	(0)
	教 育 委 員 会	21	(4)	55	(5)
	選 挙 管 理 委 員 会	0	(0)	0	(0)
	人 事 委 員 会	1	(0)	21	(0)
	監 査 委 員	0	(0)	0	(0)
	公 安 委 員 会	0	(0)	0	(0)
	労 働 委 員 会	0	(0)	0	(0)
	収 用 委 員 会	0	(0)	0	(0)
	海 区 漁 業 調 整 委 員 会	1	(1)	2	(2)
	内 水 面 漁 場 管 理 委 員 会	0	(0)	0	(0)
	企 業 庁	10	(2)	31	(3)
	病 院 事 業 庁	2	(0)	5	(0)
計	36	(7)	115	(10)	
合 計	728	(225)	3,748	(509)	

※ () は借覧で内数

年 度 別 行 政 利 用 状 況

年 度	人 数(人)	点 数(冊・点)
平 成 18 年 度 まで	12,615 (3,625)	59,328 (9,289)
平 成 19 年 度	732 (155)	4,388 (286)
平 成 20 年 度	623 (130)	3,579 (255)
平 成 21 年 度	674 (192)	2,970 (652)
平 成 22 年 度	728 (225)	3,748 (509)
累 計	15,372 (4,327)	74,013 (10,991)

※ () は借覧で内数

7 展示

本館では、公文書館制度の普及と資料の利用促進を目的に、展示室において館蔵資料を中心とした展示を行っている。

常設展は「愛知県の成立」と本館の「主な所蔵資料と業務」をテーマに、公文書や解説パネルで構成している。また、平成 22 年度は、下記のとおり企画展及び収蔵資料展を開催した。

○第 36 回企画展

期間 平成 22 年 9 月 27 日（月）～11 月 26 日（金）

テーマ 「探訪・明治の村―資料で探る村のすがた―」

平成 22 年度の企画展では、時世が大きく変化した明治期前半における村の様子に焦点を当て、当時の地方制度とそこに生まれた村の姿、そして当時の制度を交えた村人の暮らしぶり等を紹介した。

展示資料には、村人の生活に関連する古文書を中心として、絵図や地籍図を用いた。また、特徴のある地域については、地籍図と現在の写真を用いて紹介した。

○収蔵資料展

期間 平成 23 年 2 月 21 日（月）～3 月 25 日（金）

テーマ 「新聞に描かれた明治の世相」

当時の風潮や出来事がうかがえる、明治期の新聞や雑誌等を紹介した。

8 公開講座

歴史資料や郷土への関心を高めるため、古文書に関する公開講座を開催した。

○古文書講座

開催日 第 1 回：平成 22 年 10 月 29 日（金）テーマ「借用証文を読む」

第 2 回：平成 22 年 11 月 12 日（金）テーマ「送籍を読む」

第 3 回：平成 22 年 11 月 26 日（金）テーマ「旅行手形を読む」

各回とも、江戸時代の人々の生活に関わりの深い文書を取り上げた。講座前半部分で本館所蔵の近世古文書の解読及び内容解説を行い、後半部分では解読した古文書を使用して、くずし字の書写指導を行った。

9 調査・研究

本館では、公文書の収集、整理、保存及び利用の業務を行うに当たって、公文書等に関する内容、保存状況、歴史等についての調査研究を行っている。調査研究の成果は、資料の収集・保存やレファレンス、企画展示に活用している。

また、本館に複製本がある国文学研究資料館所蔵「愛知県庁文書」の件名目次の作成については、複製本 2,404 冊のうち 1,544 冊が平成 22 年度末までに終了した。

10 機関紙の発行

公文書館について県民に広報し、利用促進を図るため『愛知県公文書館だより』第 15 号(平成 22 年 12 月 25 日)を発行した。

利用案内

- 1 開館時間
午前9時～午後5時
- 2 休館日
土曜日、日曜日、国民の祝日
年末年始（12月28日～1月4日）
整理期間（春季10日以内）
- 3 複写
有料 ※一部できない資料もあります。
- 4 展示
展示室において所蔵資料を中心とした展示を行います。

案内地図



地下鉄名城線「市役所」駅 5番出口すぐ
名鉄瀬戸線「東大手」駅 徒歩7分
市バス・名鉄バス「市役所」 徒歩3分

愛知県公文書館年報

平成 23 年 6 月発行 (平成 24 年 8 月改定)

発行 愛知県公文書館

〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目 3 番 2 号

愛知県自治センター内

Tel 052-954-6025(ダイヤルイン)

Fax 052-954-6902

ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/kobunshokan/>

E-mail kobunshokan@pref.aichi.lg.jp